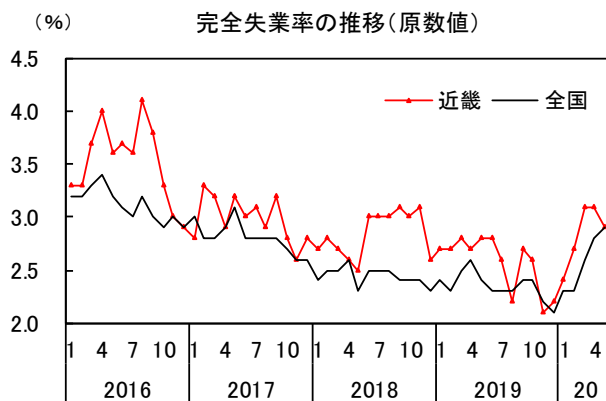
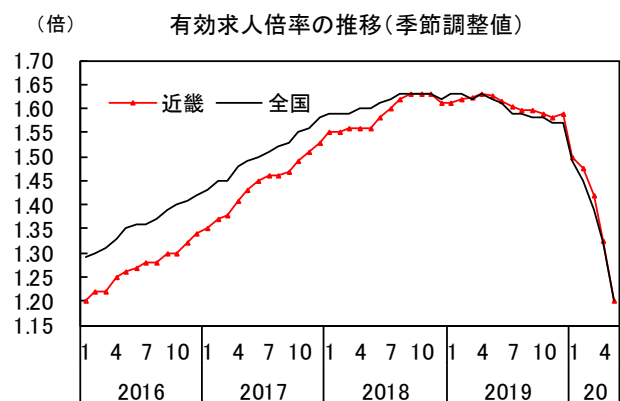


関西の景気トピックス【雇用関連（20年05月）】

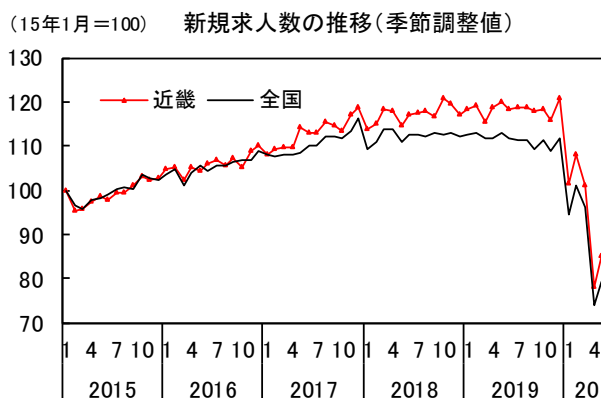
- 20年5月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は2.9%（原数値）と、前年比で0.1ポイントの上昇となった。前年を上回るのは3か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で8万人の減少となったほか、失業者は2万人の増加、非労働力人口も5万人の増加となった。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、20年5月は1.20倍（季節調整値）と前月比で0.13ポイント低下した。昨年12月からは0.39ポイントの低下と、新型コロナウイルスの影響で急激に低下している。
- 近畿の失業率、有効求人倍率ともに、徐々に前年や前月比での悪化が本格化しつつある。今後も新型コロナウイルスの影響が続く中、失業者や求職者の増加に加え、賃金の低下についても注意が必要となろう。



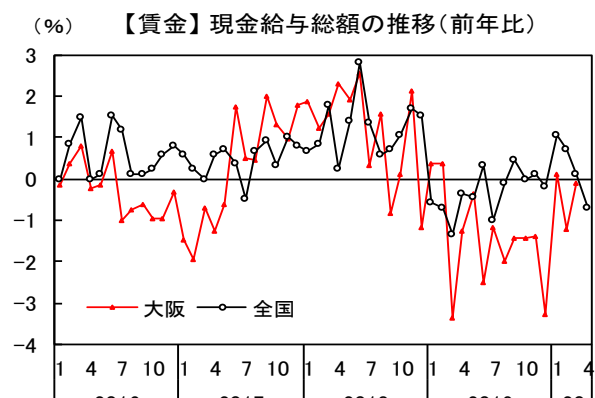
(出所)総務省「労働力調査」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」